都市再生整備計画 事後評価シート 第1期白潟地区

令和7年10月

島根県松江市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	島根県	Į	市町村名	松江市	地区名			面積	13ha						
交付期間	令和2年度~台	和6年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	373.1	国費率	50%							
-XI/# III B															
			事業名												
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	■道路 (市) 和多見天神橋線、(市) 松江港線 ■地域生活基盤施設 ポケットパーク整備、案内板設置 ■高質空間形成施設 緑化施設等(カラー舗装):(市)和多見2号線、(市)和多見寺町線、(市)和多見天神橋線、(市)松江港線 緑化施設等(知戸・舗装):(市)和多見2号線、大橋川河川敷地												
		提案事業	■地域創成支援事業 出店基盤整備、住宅等修景支援 ■まちづくり活動推進事業 まちづくり委員会への専門家派遣、社会実験												
		•		事業名		削除/追加の理由	削除/追加による目	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	■地域生活基盤施設 ポケットパーク整備、案内板 ■高質空間形成施設 歩行者空間美装化 (市)和	設置 多見天神橋線、(市)松江港線	■高質空間 関連事業の	基盤施設 ポケットパーク整備、案内 ド成施設 (市)和多見天神橋線、(市 大橋川改修との事業間調整から、対 ため、次期計画に見送ることとなった	i)松江港線 象事業の整備が	影響なし							
			■地域創成支援事業 出店基盤整備		関連事業の	支援事業 出店基盤整備 大橋川改修との事業間調整から、対さ ため、次期計画に見送ることとなった		影響なし							
	新たに追加した事業	基幹事業	なし												
		提案事業	なし												
	交付期間 の変更	当 初	令和2年度~令和6	6年度 交付期間の変更によ	る事業、		_								
		変 更	なし	指標、数値目標への				-							

	指標 :			従前値目標		値 数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況				単位	基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	遊休不動産の	の事業化件数	件	0	R2	3	R6		11	0	あり なし	大橋川改修の着手を始め、白潟本町通り の事業化、都市構造再編集中支援事業の 実施等により、まちづくりの見通しから当該 エリアの魅力につながったものと考える。		
	指標2	歩行者·自転	車通行量	人・台/日	2,080	R2	2,080	R6		1,974	Δ	あり なし O	- 工事が継続しているなかでも、歩行者通行 量は増加している一方で、自転車通行量が 低下し、目標数値の達成できなかった。		
	指標3	まちなみ景観	見の満足度	%	42.5	R2	42.5	R6		54	0	あり なし	大橋川改修の着手を始め、白潟地区地区 計画策定や住宅等修景支援により景観形 成が図れ、満足度上昇に寄与したものと考 える。		
	指標4											あり なし	-		
	指標5											あり なし	-		
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	従前個	<u>重</u> 基準年度	目標値	直 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	その他の 数値指標1														
	その他の 数値指標2														
	その他の 数値指標3														
4)定性的な効果	■本事業を実施するにあたり、白潟地区まちづくり委員会が中心となり、行政との窓口を担い、事業推進に大きな協力を得ることができた。 性的な効果 ■景観舗装の整備により、快適な歩行空間の改善が図られるとともに、歩きたくなる街の景観形成の向上に寄与した。														
5)実施過程の評価				実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
				市街地の通行量や令和5年度に景観形成に ₹を実施し、状況を確認した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	B氏連携による 取知 まちづくり委員		リ委員会での意見交換や行政との窓口役をになって頂き				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 第2期	今後も白潟地区まちづくり委員会を開催し、官民連携による取組状況や 第2期計画に関して意見交換を行う。また、新しく設立した都市再生推進 法人(まつくる)との連携を図る。				
				メまちつくり委員会を中心に各町内の良好なまちつくりや 削出を目指して活動を行う。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●			リアの			
			1					都市再生整	8市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			る)と0			

様式2-2 地区の概要



(国)大橋川改修(関連事業) 水辺の利活用促進事業(関連事業))

市)松江港線(基幹:道路)

市)松江港線·大橋川河川敷地(基幹:高質空間)

まちのRe-project事業(関連事業) 白潟地区地区計画(関連事業)

(市)和多見寺線(基幹:高質空間)

(市)和多見天神橋線(基幹:道路)

上会実験、まちづくり委員会への専門家派遣(提案)

松江駅前均





(県) 都市計画街路事業(関連事業) (市)和多見2号線



白潟本町通り社会実験(令和3年)



乗船社会実験(令和5年)

まちの課題の変化

- ■事業実施に伴い地域が活性化されるまちづくりイメージが描けたことで、遊休不動産の事業化件数増につながった。
- ■歩行者空間が美装化され、快適な歩行空間の創出が図れた。
- ■地区計画や住宅等修景支援に伴いまちなみ景観が保全された。
- ■地区内の事業遂行に向けて、町内会等関係組織が中心となり、各町内の良好なまちづくりや賑わい創出につながる取り組みを推進する。
- ■大橋川改修などと調整を図り、早期完成に務める。第2期計画で安心・安全で快適かつ景観に配慮したまちあるきを楽しめる歩行空間や滞留空間の環境整備を進めていく。
- ■地域住民や民間と協働し、不動産や商店街など出店しやすい環境の整備や活用を行っていく。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)